

## 7 保育福祉科 昼間コース 2年次

	講 義 名	開講時期・単位数	
		前 期	後 期
保育士養成課程 教 養 科 目	英語コミュニケーション		2
	日本国憲法	2	
	児童文学	2	
	情報機器の操作	2	
保育士養成課程 必 修 科 目	相談援助		1
	保育者論		2
	家庭支援論	2(b)	2(a)
	保育内容演習・健康		1
	保育内容演習・人間関係		1
	保育内容演習・環境		1
	保育内容演習・言葉	1	
	保育内容演習・表現		1
	障害児保育	2(a)	2(b)
	保育相談支援		1
保育実践演習		2	
保育士養成課程 選 択 必 修 科 目	教育史	2	
	保育臨床心理学		2
	子どもの食と栄養実習	1	
	児童文化		2
	保育あそび論	2	
	絵画造形技法	1	
	保育表現技術・幼児体育Ⅱ		1
	保育表現技術・ピアノⅡ	1	
	保育表現技術・ピアノⅢ		1
	保育表現技術・声楽	1	
保育実習指導Ⅱ又はⅢ	1		
	キャリアデザイン	1	
	クラスルームⅡ	1	
実 習	保育実習Ⅰ-1		2
	保育実習Ⅰ-2		2
	保育実習Ⅱ又はⅢ		2
合 計 単 位 数		20	26
		46	

(a) = a クラス、(b) = b クラス

科 目	英語コミュニケーション	講 師	玉置 充佳
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語の歌、絵本、ゲームを使ってレッスンが出来るように</li> <li>・簡単な英作文と英会話が出来るように</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英語で自己紹介 歌 英会話</li> <li>2. 数 歌 英会話</li> <li>3. 曜日・月 歌 英会話</li> <li>4. 色 歌 英会話</li> <li>5. ABC Phonics 歌 英会話</li> <li>6. I like…動物 歌 英会話</li> <li>7. I want…果物 歌 英会話</li> <li>8. I have…名詞 歌 英作文</li> <li>9. I can…動詞 歌 英作文</li> <li>10. Halloween 歌 英作文</li> <li>11. Christmas 歌 英作文</li> <li>12. Valentine's 歌 英作文</li> <li>13. Chants 歌 英作文</li> <li>14. Chants 歌 英作文</li> <li>15. Test</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……適宜、プリント配布 <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評 価 の 法	受講態度・ノート提出・発表		

科 目	日本国憲法	講 師	中里 満理子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最高法規としての憲法のなりたちを知る。</li> <li>・近代立憲主義の枠組みを理解する。</li> <li>・論理的記述力を養う。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. イントロダクション</li> <li>2. 憲法の構造</li> <li>3. 立憲主義</li> <li>4. 国民主権</li> <li>5. 天皇制</li> <li>6. 人権の種類と主体</li> <li>7. 人権の限界と効力</li> <li>8. 包括的基本権</li> <li>9. 精神的自由</li> <li>10. 経済的自由</li> <li>11. 身体的自由と手続保障</li> <li>12. 社会権</li> <li>13. 統治機構</li> <li>14. 平和主義</li> <li>15. 試験</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……特に指定なし <b>参考書</b> ……『憲法』 芦部信喜著、岩波書店		
評 価 の 法	出席、ミニテストおよび期末試験による総合評価		

科 目	児童文学	講 師	川北 亮司
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>*ことばについての理解を深める。</li> <li>*絵本や童話の読み聞かせを学ぶ。</li> <li>*幼児・幼年向けの作品を知る。</li> <li>*手づくり絵本を制作する。</li> <li>*子どもの遊び歌を覚える。</li> <li>*紙芝居の演じ方を学ぶ。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業内容の説明</li> <li>2. 保育とは</li> <li>3. ことばで遊ぶ</li> <li>4. 赤ちゃん絵本</li> <li>5. 幼児の絵本(1)</li> <li>6. 幼児の絵本(2)</li> <li>7. 手づくり絵本を制作(1)</li> <li>8. 紙芝居の演じ方</li> <li>9. 民話に親しむ</li> <li>10. 絵本の読み聞かせ(1)</li> <li>11. 手づくり絵本を制作(2)</li> <li>12. 絵本の読み聞かせ(2)</li> <li>13. 子どもの遊び歌</li> <li>14. 手づくり絵本を制作(3)</li> <li>15. まとめ</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……特に指定なし（プリント配布など） <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	総合評価		

科 目	情報機器の操作	講 師	酒井 澄
授業目標	<p>幼児教育者が持つべき情報の基礎知識を得る。  情報機器を使う教育の利点と問題点を知る。  基礎的な情報機器の活用法を学び考える。  教育現場でも作成可能なコンピュータによる「動くオリジナルストーリー映像」を作り、これを指導できる能力や創作力を養う。これらを、受け身ではなく自発的に協力し合いながら行う。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ●基礎情報学①（プリント使用）</li> <li>2. ●基礎情報学②（プリント使用）</li> <li>3. ●基礎情報学③（プリント使用）</li> <li>4. *「動くオリジナルストーリー映像」のサンプルを見る。*市販のゲームを体験する。</li> <li>5. ●基礎情報学④（プリント使用）</li> <li>6. *教育現場での撮影の仕方を学ぶ。★試験1（設題2）資料持ち込み不可。</li> <li>7. ■動画制作①</li> <li>8. ■動画制作② 班ごとに物語を考え発表、一番支持を得た物語の映像制作をする。</li> <li>9. ■動画制作③ 作業分担制作開始(作業は、脚本・絵コンテ・色指定・キャラクター</li> <li>10. ■動画制作④ 作画・色塗り・背景作画・色塗り・撮影・スキャン・キャラの切り</li> <li>11. ■動画制作⑤ 抜き・アフレコ台本作り・録音・音楽効果音作り・編集などの作業</li> <li>12. ■動画制作⑥ を分担し、協力し合い効率よく完成させる。)</li> <li>13. ■動画制作⑦</li> <li>14. ★試験2（設題1）資料持ち込み不可 ■動画制作⑦ 答案を書き終えた学生は映像作り</li> <li>15. ■動画制作⑧ 完成試写</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……『インターネットの光と影ver.5』（希望者のみ購入） <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	教科の理解度、受講態度を評価するが、映像制作時の協調性・積極性にも重点を置く。 欠席、遅刻も評価対象となる。		





科 目	保育内容演習・人間関係	講 師	今泉 良一
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・領域「人間関係」のねらいと内容を理解し、その「ねらい」を達成するための保育者の具体的な援助について学ぶ。</li> <li>・乳幼児期の自己の発達、他者との関係の発達を理解する。</li> <li>・様々な事例を考察し、子どもの心に寄り添う保育者としての役割等について理解する。</li> <li>・保育を取り巻く人間関係（保護者との人間関係、保育者同士の人間関係、小学校との連携）について理解を深める。 ※実践的授業を目指しますので、積極的に取り組んで下さい。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション（講義の概要とねらい）</li> <li>2. 領域「人間関係」の基礎知識</li> <li>3. 人とのかかわりを培う保育の基本</li> <li>4. コミュニケーションゲーム①</li> <li>5. 乳幼児期の発達段階①</li> <li>6. 乳幼児期の発達段階②</li> <li>7. 育ちに応じたかかわりと援助①</li> <li>8. 育ちに応じたかかわりと援助②</li> <li>9. 育ちに応じたかかわりと援助③</li> <li>10. 気になる子どもの人間関係づくりと援助①</li> <li>11. 気になる子どもの人間関係づくりと援助②</li> <li>12. コミュニケーションゲーム②</li> <li>13. 保護者との関係づくりと地域との連携</li> <li>14. 職場の人間関係・保育者同士の人間関係</li> <li>15. 試験</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……『事例と図解で学ぶ保育実践 子どもの心の育ちと人間関係』保育出版社 <b>参考書</b> ……『0歳～6歳 子どもの社会性の発達と保育の本』学研		
評 価 の 方 法	出席状況、受講態度、発表、試験等による総合評価		

科 目	保育内容演習・環境	講 師	中村 美奈子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所保育指針に基づき、保育内容に示される「環境」の領域において育むものについて理解する。</li> <li>・人、もの、場などが相互に関連し、子どもの生活を豊かにする環境構成を理解する。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス</li> <li>2. 心にのこる遊びとは</li> <li>3. 「環境」に関わる現代社会の状況</li> <li>4. 保育内容に示される「環境」の領域において育むもの</li> <li>5. 保育における「環境」の大切さ</li> <li>6. 好奇心、探究心を育てる環境</li> <li>7. 物的環境としての園具、遊具、素材</li> <li>8. 人的環境としての友だち、保育者</li> <li>9. 自然環境</li> <li>10. 社会環境</li> <li>11. 地域、行事に関わる保育的意義</li> <li>12. ねらいを達成するために保育者が行う具体的事項①</li> <li>13. ねらいを達成するために保育者が行う具体的事項②</li> <li>14. 試験</li> <li>15. まとめ ※内容は授業の進み具合によって変更することもあります</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……『保育所保育指針』、『養護と教育が一体となった保育の言語化』全国社会福祉協議会、授業内で配布したプリントはまとめておく <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席状況、授業態度を重視し、課題提出、試験などによる総合評価		

科 目	保育内容演習・言葉	講 師	片野 枝美子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の獲得に関する領域「言葉」において目指されている事項を理解する。</li> <li>・コミュニケーションの手段である言葉の発達を知る。</li> <li>・領域「言葉」のねらいをどのように達成していくか、具体的に学習する。</li> <li>・実技演習、教材作製を通じ、保育技術を学ぶ。</li> <li>・考えや思いをまとめ、言葉で伝える力を高める。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業のねらい及び内容</li> <li>2. 言葉の発達の姿の理解(1) 資料研究</li> <li>3. 言葉の発達の姿の理解(2) 観察記録研究</li> <li>4. 言葉の発達上の問題</li> <li>5. 言葉を豊かにする保育内容</li> <li>6. グループワークによる保育内容研究(1) 手遊び・素話</li> <li>7. グループワークによる保育演習</li> <li>8. グループワークによる保育内容研究(2) 絵本・紙芝居</li> <li>9. グループワークによる保育演習</li> <li>10. 保育実技演習(1)</li> <li>11. 保育実技演習(2)</li> <li>12. 教材作製(1)</li> <li>13. 教材作製(2)</li> <li>14. まとめ</li> <li>15. 試験</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……特に指定なし 授業内で配布したプリントはまとめておく <b>参考書</b> ……『保育所保育指針』『幼稚園教育要領』『幼保連携型認定こども園教育保育要領』		
評 価 の 方 法	出席、授業態度を重視し、提出プリント、試験等による総合評価		

科 目	保育内容演習・表現	講 師	竹田 えり
授業目標	色々な手遊び・歌遊び・リズム遊びなどを通して子どもの表現の育ちと保育者の役割について学びます。 ひとつの遊びから様々な応用を考え表現の幅を広げていきます。 絵本の読み聞かせの際の演技のバリエーションなどや、劇あそびなどまで発展させて考えていきます。		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 色々な手遊び・歌遊び(1)</li> <li>3. 色々な手遊び・歌遊び(2)</li> <li>4. 色々な手遊び・歌遊び(3)</li> <li>5. 色々な手遊び・歌遊び(4)</li> <li>6. まとめ 個人演習</li> <li>7. 読み聞かせ 表現方法(1) 朗読のバリエーション</li> <li>8. 読み聞かせ 表現方法(2) 絵本から劇あそびへ</li> <li>9. タオル遊び(1)</li> <li>10. タオル遊び(2)</li> <li>11. パネルシアターなど</li> <li>12. グループワーク(1) 様々な表現を織り交ぜた創作を行う</li> <li>13. グループワーク(2) 様々な表現を織り交ぜた創作を行う</li> <li>14. グループワーク(3) 様々な表現を織り交ぜた創作を行う</li> <li>15. 発表会・まとめ</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……『あつまれハート』メイト <b>参考資料</b> …CD『ハートキラキラ』『ハートハッピー』『ふれあいタオルあそび』メイト		
評 価 の 方 法	出席状況、受講態度、レポート及びグループ発表等による総合評価		

科 目	障害児保育	講 師	恵良 具子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害児保育を支える理念と障害児保育の基本について理解を深める。</li> <li>・ 多様な障害の中から保育園で対応が求められている発達障害及び精神発達遅滞について重点的に学ぶ</li> <li>・ 障害を疑われる子どもが求めている成長上の必要性（ニーズ）を探る力を培う</li> <li>・ 事例を用いたグループ学習を通して他者の考えや意見を理解し、自分の考えをまとめ表現する力を養う</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 障害の捉え方と障害児保育の理念</li> <li>2. 自閉症の症状の基本的知識と理解</li> <li>3. 自閉症児の状態像とその理解</li> <li>4. 自閉症児の発達の様相</li> <li>5. 自閉症児への支援とその留意点</li> <li>6. 自閉症児の事例検討</li> <li>7. ADHDの症状の基本的知識と理解</li> <li>8. ADHD児の具体的支援と保育の要点</li> <li>9. ADHD児の事例検討</li> <li>10. 感覚の異常の状態像と理解</li> <li>11. 感覚統合をすすめる遊び</li> <li>12. 精神発達遅滞（知的障害）の定義と特徴</li> <li>13. 精神発達遅滞児への支援と保育の要点</li> <li>14. 精神発達遅滞児の事例検討</li> <li>15. 試験</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<p><b>教科書</b>……『障害児保育…子どもとともに成長する保育者を目指して…』萌文書林</p> <p><b>参考書</b>……特に指定なし</p>		
評 価 の 方 法	授業への参加度、レポート・試験による総合評価		

科 目	保育相談支援	講 師	古野 愛子
授業目標	<p>保育所保育指針において「保育士の専門性を生かした保護者支援」の必要性がうたわれ、その解説書においては、保育士の専門性を生かした保護者支援業務が「保育指導」と規定されています。保育相談支援では、子どもに対する「保育」を行うと同時に、その保護者に対する「保育指導」及び「子育て相談」に丁寧に対応するための相談援助の基本と技術を習得することを目標とします。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育相談支援の意義と基本的視点①</li> <li>2. 保育相談支援の意義と基本的視点②</li> <li>3. 保育相談支援の基本①</li> <li>4. 保育相談支援の基本②</li> <li>5. 保育相談支援の展開①</li> <li>6. 保育相談支援の展開②</li> <li>7. 環境を通じた保育相談支援①</li> <li>8. 環境を通じた保育相談支援②</li> <li>9. 保育所入所児童の保護者への保育相談支援①</li> <li>10. 保育所入所児童の保護者への保育相談支援②</li> <li>11. 保育所の地域子育て支援における保育相談支援①</li> <li>12. 保育所の地域子育て支援における保育相談支援②</li> <li>13. 児童福祉施設における保育相談支援①</li> <li>14. 児童福祉施設における保育相談支援②</li> <li>15. 試験</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<p><b>教科書</b>……『保育相談支援 [第2版]』ミネルヴァ書房</p> <p><b>参考書</b>……『七訂 保育士をめざす人の社会福祉』みらい</p>		
評 価 の 方 法	試験・受講態度・出席状況による総合評価		



科 目	保育実践演習	講 師	鈴木 八重子・東郷 結香
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育に関する様々な物事に目を向け、幅広い視野を持って主体的に関わる姿勢を養う。</li> <li>・興味のあるテーマについて調査、分析、考察、発表を行う。</li> <li>・他者に根拠を示し明確に考えを伝える力を身に付けると同時に、ディスカッションを通し、他者の意見を取り入れながら問題を解決していく方法を体験的に学ぶ。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション～保育実践演習の進め方～</li> <li>2. テーマの設定①～関心を明確にする～</li> <li>3. テーマの設定②～テーマを決める・関心の深め方～</li> <li>4. 研究のスタイル～調査・分析・考察の方法～</li> <li>5. 中間発表に向けての個別指導</li> <li>6. 中間発表に向けてのレジュメの作成</li> <li>7. 中間報告及びディスカッション①</li> <li>8. 中間報告及びディスカッション②</li> <li>9. 中間発表を踏まえ、発表に向けた課題の点検</li> <li>10. 発表に向けての個別指導</li> <li>11. レジュメ作成及び発表準備</li> <li>12. 発表①</li> <li>13. 発表②</li> <li>14. 発表③</li> <li>15. まとめ</li> </ol>		
教科書及び参考書	<b>教科書</b> ……特に指定なし 授業中に適宜資料を配布する <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評価の方法	出席状況、受講態度、中間発表、総合発表、ディスカッション等による総合評価		

科 目	教育史	講 師	安部 高太郎
授業目標	<p>授業のなかで得た教育（思想）史的な知見をもとに、保育・教育の事象について自分なりに考えを深め、それを表現する。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 導入：「教育（思想）史」を学ぶ意義って例えばどんなことか？</li> <li>2. コメニウスの『世界図絵』：子どもに〈この世界〉を示すには？</li> <li>3. 福沢諭吉の『学問のすゝめ』と我が国の近代学校教育制度：明治期の「学校」教育の理念とは何だったのか？</li> <li>4. ルソーの『エミール』：人間の手にかかると人間は悪く育ってしまう!?</li> <li>5. グループ発表に向けて：グループ分け及び発表テーマ決め・詳細説明・諸注意など【*必ず出席してほしい】</li> <li>6. フレーベルの教育思想と我が国への影響：「幼稚園」のはじまりについて</li> <li>7. 【グループごと】グループ発表準備①：発表に向けての資料収集</li> <li>8. 【グループごと】グループ発表準備②：資料収集及び整理</li> <li>9. グループ発表進捗状況確認とアドバイス①：発表資料作り</li> <li>10. グループ発表進捗状況確認とアドバイス②：発表資料完成</li> <li>11. デューイの教育思想と大正新教育への影響：子どもの興味・関心を活かす教育は実現できるか？</li> <li>12. グループ発表①</li> <li>13. グループ発表②</li> <li>14. グループ発表③</li> <li>15. まとめに代えて：再び「教育（思想）史」が活きる瞬間は本当にあるのか？（もし、あるとすれば…）</li> </ol>		
教科書及び参考書	<b>教科書</b> ……特に指定なし <b>参考書</b> ……今井康雄 編（2009）『教育思想史』有斐閣（有斐閣アルマ）。その他、適宜、授業で提示する。		
評価の方法	原則として、授業への参加状況ならびに小レポート、さらにグループ発表などから総合的に評価する。なお、詳細は初回の授業にて説明する。		

科 目	保育臨床心理学	講 師	小沢 恵美子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分や他者の「こころ」に触れる体験を通して、自己理解や他者理解を深める。</li> <li>・子どもの「こころ」の世界について学び、今までの学習と結びつけて考える。</li> <li>・子どもや保護者への適切な対応を、自ら考えていく力を養う。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス、臨床心理学について①</li> <li>2. 臨床心理学について②</li> <li>3. 性格について</li> <li>4. 知能について</li> <li>5. 心理検査について①</li> <li>6. 心理検査について②</li> <li>7. 子どもの「こころ」に関する問題①</li> <li>8. 子どもの「こころ」に関する問題②</li> <li>9. 子どもの「こころ」に関する問題③</li> <li>10. 子どもの「こころ」に関する問題④</li> <li>11. 大人の「こころ」に関する問題①</li> <li>12. 大人の「こころ」に関する問題②</li> <li>13. 子どもの健やかな発達のためにできること</li> <li>14. 保護者の心の健康について</li> <li>15. 試験</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……使用しない  <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席状況、受講態度、レポート、試験等による総合評価		

科 目	子どもの食と栄養実習	講 師	島村 恵子
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 健康生活の基本である食生活について学ぶ。</li> <li>2. 栄養バランスのとれた献立を理解し、作成できるよう学ぶ。</li> <li>3. 子どもの成長と食生活の関係を理解する。</li> <li>4. 子どもの成長に合わせた食生活を実習を通して理解する。</li> <li>5. 食育の大切さを学び、食育のための環境について理解を深める。</li> </ol>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもの健康と食生活について</li> <li>2. 5大栄養素について</li> <li>3. バランス献立の作成、栄養計算</li> <li>4. 乳汁期栄養について、調乳実習</li> <li>5. 離乳期栄養について</li> <li>6. 離乳食調理の基本</li> <li>7. 離乳食実習（5、6ヵ月児、7、8ヵ月児）</li> <li>8. 離乳食実習（9～11ヵ月児、12～18ヵ月児）</li> <li>9. 幼児期栄養について</li> <li>10. 幼児食の献立作成、栄養計算</li> <li>11. 作成した献立での実習</li> <li>12. 保育所給食での間食実習</li> <li>13. 食育について</li> <li>14. 食育用の媒体物作り</li> <li>15. まとめ・試験</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……『発育期の子どもの食生活と栄養』学建書院 『はじめての食品成分表』女子栄養大学出版社 <b>参考書</b> ……その時々参考になるものを紹介		
評 価 の 方 法	出席、レポート、実習態度、試験による総合評価		



科 目	絵画造形技法	講 師	高木 秀文
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児期の発達段階に見られる特徴的で独特な表現の形（なぐり描き、見立て、頭足人、ら列、展開表現）を模擬的に体験して、この時期の造形活動への理解と興味を深める。</li> <li>・ 一方、保育現場で応用の出来る実践的な制作課題を用意して各々の造形実習レベルを強化していく。</li> </ul>		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「ガイダンス」授業内容、評価、用具教材について。他、児童画鑑賞コメント。</li> <li>2. 「児童の表現」幼児期の描画を模擬的に体験する。</li> <li>3. 「児童の表現2」幼児期の描画を模擬的に体験する。</li> <li>4. 「お話の絵」むかし話を読み、その中の一場面を絵に描く。</li> <li>5. 「お話の絵2」むかし話を読み、その中の一場面を絵に描く。</li> <li>6. 「児童の表現3」幼児期の描画を模擬的に体験する。</li> <li>7. 「表現の類型復習」前半で行った幼児期の表現に関するテスト形式の復習。</li> <li>8. 「表情表現の工夫」顔面にとどまらず身振りや動作で感情を絵画表現する。</li> <li>9. 「貼り絵人形作り」性別、年齢、名付けをしてヒト型キャラクターを作る。</li> <li>10. 「貼り絵人形作り2」複数の人形を作り情景や物語背景を考える。</li> <li>11. 「各種表現技法」幼児期に適した絵の具やパス類を用いた技法を体験、理解する。</li> <li>12. 「各種表現技法2」幼児期に適した絵の具やパス類を用いた技法を体験、理解する。</li> <li>13. 「各種工作」主に紙粘土・色紙を使った工作を行う。</li> <li>14. 「各種工作2」主に紙粘土・色紙を使った工作を行う。</li> <li>15. 「表現技法の理解」後半で行った表現技法に関するテスト形式の復習。</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……『絵画・製作・造形あそびかんぺきBOOK』ひかりのくに <b>参考書</b> ……『保育をひらく造形表現』萌文書林		
評価の 方 法	出席状況・テスト・受講態度による総合評価		

科 目	保育表現技術・幼児体育Ⅱ	講 師	菊池 一英
授業目標	<p>子ども達の心身の育ちに幼児体育がどのように貢献できるかを学び、更に幼児体育Ⅰで学んだ内容を基本として、様々な実践的スキルを身につけます。</p> <p>また、保育所にある運動遊具（マット、巧技台、ボール等）の使用方法和安全管理について学びます。そして、幼児向けのリズムダンス遊びを習得し、グループ発表をします。運動会に向けての企画案をグループワークで提案します。</p>		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 幼児体育の意義と社会的背景、コミュニケーションゲーム（握手で遊ぼう）</li> <li>2. まねっこ体操色々（1人、2人、3人組）</li> <li>3. 組体操遊び</li> <li>4. 運動遊具を使う体育遊び（マット①）</li> <li>5.                    〃                  （マット②）</li> <li>6.                    〃                  （巧技台）</li> <li>7. 運動量が多い遊び色々</li> <li>8. 鬼遊び色々 ※野外での指導</li> <li>9. リズムダンス遊び（ゴリラ、きのこ、さんぽ）</li> <li>10. 運動会に向けての企画会議（その①）</li> <li>11.                    〃                  （その②）</li> <li>12.                    〃                  （その③）</li> <li>13.                    〃                  （その④）</li> <li>14.                    〃                  （その⑤）</li> <li>15. 運動会の企画についてのプレゼンテーション</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……『仲間づくりのためのおもしろゲーム遊び』メイト <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評価の 方 法	出席率、レポート、プレゼンテーション等で総合評価します		

科 目	保育表現技術・ピアノⅡ	講 師	石田 延江・国友 真知子・杉浦 千里・鈴木 祥子 鈴木 真智子・山崎 洋子・渡辺 容子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアノⅠに引き続き、ピアノの基礎表現技術を学んでいく。</li> <li>・現場で使える生活の歌や童謡の弾き歌いレパートリーを増やしていく。</li> <li>・日々の自己練習を積み重ねることで、個人レッスンで音楽表現の楽しさや共有する喜びを体験する。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 個人レッスン：大譜表、ヘ音記号の復習</li> <li>3.       〃       ：跳躍するメロディーの指の使い方（指替え、指広げ等）</li> <li>4.       〃       ：ハ長調の音階練習</li> <li>5.       〃       ：3連符と16分音符</li> <li>6.       〃       ：イ短調の音階</li> <li>7.       〃       ：ト長調の音階と曲</li> <li>8.       〃       ：ト長調の童謡</li> <li>9.       〃       ：ニ長調の音階と曲</li> <li>10.      〃       ：ニ長調の童謡</li> <li>11.      〃       ：ヘ長調の音階と曲</li> <li>12.      〃       ：ヘ長調の童謡</li> <li>13.      〃       ：生活の歌</li> <li>14.      〃       ：実技試験の曲の徹底練習</li> <li>15. 実技試験</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……1年次で購入した教本、『こどものうた100』チャイルド本社  <b>参考書</b> ……『始めよう！弾き歌い』		
評 価 の 方 法	受講態度、出席状況、実技試験による総合評価		

科 目	保育表現技術・ピアノⅢ	講 師	佐藤 季里・島内 亜津子・杉浦 千里 杉橋 祥子・鍋島 久美子・渡辺 容子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアノの基礎演奏技術を学ぶ（バイエル96番程度）。</li> <li>・童謡を楽しく弾き歌いできるようになる。</li> <li>・実習に向けて、生活の歌や童謡のレパートリーを増やす。</li> <li>・ピアノ練習を毎日の生活の中で確保できるよう努力する。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション：各自のレベルの把握と課題の決定</li> <li>2. 個人レッスン</li> <li>3.       〃</li> <li>4.       〃</li> <li>5.       〃</li> <li>6.       〃</li> <li>7.       〃</li> <li>8.       〃</li> <li>9.       〃</li> <li>10.      〃</li> <li>11.      〃</li> <li>12.      〃</li> <li>13.      〃</li> <li>14.      〃       ：実技試験発表曲の徹底練習</li> <li>15. 実技試験</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……1年次に購入したもの  <b>参考書</b> ……『始めよう！弾き歌い』及び担当講師の指定するもの		
評 価 の 方 法	受講態度、出席状況、実技試験等による総合評価		

<b>科 目</b>	<b>保育表現技術・声楽</b>	<b>講 師</b>	<b>福田 由子</b>
<b>授業目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数々の子どもの歌を通して、歌う事の楽しさを自ら体験出来るよう練習します。</li> <li>・正しい呼吸法、発声法を身につけていきます。</li> <li>・音程、リズムのとり方を学んでいきます。</li> <li>・ハーモニーの体験から、同時に響く相手の声を聞く感覚を養います。</li> <li>・歌唱指導法を学んでいきます。</li> </ul>		
<b>授 業 の 画</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歌の為の易しい</li> <li>2. ストレッチと呼吸法</li> <li>3. ヴォイストレーニング</li> <li>4. ↓</li> <li>5. ↓</li> <li>6. ↓</li> <li>7. ↓</li> <li>8. ↓</li> <li>9. ↓</li> <li>10. ↓</li> <li>11. ↓</li> <li>12. ↓</li> <li>13. ↓</li> <li>14. ↓</li> <li>15. ↓</li> </ol>	<p>子どもの歌の歌唱練習</p> <p>↓</p> <p>中間実技テスト テストについての所見とレベルアップへの方法 子どもの歌の歌唱練習</p> <p>↓</p> <p>テスト課題曲の発表とその練習</p> <p>↓</p> <p>期末テスト テストについての所見とレベルアップへの方法</p>	<p>ソルフェージュ</p> <p>↓</p>
<b>教科書 及び 参考書</b>	<b>教科書</b> ……『ポケットいっぱいのおうた』教育芸術社 <b>参考書</b> ……特に指定なし		
<b>評価の 方 法</b>	実技試験と受講態度、出席による総合評価		

<b>科 目</b>	<b>保育実習指導Ⅱ</b>	<b>講 師</b>	<b>鈴木 八重子</b>
<b>授業目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所実習Ⅰbを振り返り、評価・反省に基づき、課題を理解する。</li> <li>・保育所実習Ⅱに向けて、目的意識・問題意識を明らかにする。</li> <li>・保育所、保育士の役割について理解し、実践する。</li> <li>・保育教材の制作・発表を通じ、指導案を立案し実践し評価を行う。</li> </ul>		
<b>授 業 の 画</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育所実習Ⅰを振り返る①</li> <li>2. 保育所実習Ⅰを振り返る②</li> <li>3. 実習日誌の分析</li> <li>4. 部分、責任実習の実際</li> <li>5. 日案作成①</li> <li>6. 日案作成②</li> <li>7. 保育教材の制作</li> <li>8. 保育教材の発表</li> <li>9. 責任実習指導案の作成と展開、反省①</li> <li>10. 責任実習指導案の作成と展開、反省②</li> <li>11. 保育実習Ⅱの目標を立てる</li> <li>12. 実習に伴う書類の作成、事務手続きの確認</li> <li>13. 責任実習に向けての準備①</li> <li>14. 責任実習に向けての準備②</li> <li>15. 試験 ※随時、漢字テスト、保育者としての常識などを問う小テストを実施する</li> </ol>		
<b>教科書 及び 参考書</b>	<b>教科書</b> ……『教育・保育・施設実習の手引き』建帛社、松本峰雄編 <b>参考書</b> ……授業内で配布したプリントはまとめておく		
<b>評価の 方 法</b>	出席状況（無断欠席不可）、授業態度、小テスト、提出物、発表、試験等による総合評価		

科 目	保育実習指導Ⅲ	講 師	古野 愛子・渡邊 眞理
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年次で経験した保育所実習、施設実習の振り返りと反省をし、次回の実習に向け課題を明確にする。</li> <li>・ 保育所実習、施設実習で記録した日誌の分析と記入について再度考察し実践につなぐ。</li> <li>・ 2年次の施設実習に向け個別支援計画、指導計画の立案、保育技術、保育知識の見直し、向上に一人ひとり問題意識を持ち意欲的に学び実践につなぐ。</li> <li>・ 施設における保育者の役割、さらには保育者の専門性について課題を明確にして実習に臨む。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション、授業の進め方</li> <li>2. 保育所実習・施設実習の振り返り①</li> <li>3. 保育所実習・施設実習の振り返り②</li> <li>4. 保育所実習・施設実習から見えた課題の明確化①</li> <li>5. 保育所実習・施設実習から見えた課題の明確化②</li> <li>6. 実習日誌の分析</li> <li>7. 実習日誌の書き方</li> <li>8. 施設実習に向けての観察の視点を明確にする</li> <li>9. 施設実習における保育者の専門性を考える</li> <li>10. 個別支援計画と指導計画の作成</li> <li>11. 個人票の作成①</li> <li>12. 個人票の作成②</li> <li>13. 実習課題の作成①</li> <li>14. 実習課題の作成②</li> <li>15. 実習に向けてのまとめ、直前指導</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<p><b>教科書</b>……授業時に適宜プリントを配布</p> <p><b>参考書</b>……特に指定なし</p>		
評 価 の 方 法	平常点、授業態度、提出物、実技発表などの総合評価		

科 目	キャリアデザイン	講 師	井守 知義
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就職活動に向けて、基本的なスキルを身に着ける</li> <li>・ これまでの学びと実習経験から就職先（保育所、施設等）の絞り込みをする</li> <li>・ 公務員試験対策を万全にする</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 進路指導のガイダンス。作文「学校生活を振り返って」</li> <li>2. 自己PRについて。キャリアカードの更新。就職希望調査。</li> <li>3. 就職ガイダンス①（就職に向けて、キャリアデザインセンターの利活用、ビジネスマナー等）</li> <li>4. 就職ガイダンス②（公共機関の利活用、就職フェアについて、求人票の見方等）</li> <li>5. キャリアモデルから学ぶ（卒業生を招いての懇談会）</li> <li>6. 人事採用担当者から学ぶ企業研究①</li> <li>7. 人事採用担当者から学ぶ企業研究②</li> <li>8. 人事採用担当者から学ぶ企業研究③</li> <li>9. 面接試験に向けての心構え（入退出、自己紹介、服装、面接等）</li> <li>10. 自己アピールワークシート作成</li> <li>11. 模擬面接①</li> <li>12. 模擬面接②</li> <li>13. 模擬面接③</li> <li>14. 模擬面接④</li> <li>15. 模擬面接⑤</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<p><b>教科書</b>……特に指定なし</p> <p><b>参考書</b>……特に指定なし</p>		
評 価 の 方 法	出席率、提出物、受講態度により評価します		

科 目	クラスルームⅡ	講 師	阿久津 摂・東郷 結香
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活がより安定し、充実したものとなるよう、適宜必要なことを行う時間とする</li> <li>・学生への連絡事項、留意事項、指導を行い、相互に理解を深める</li> <li>・学校生活上で生じた問題や悩みに対して、個別の時間を設けサポートする</li> <li>・クラス活動を通して、協調性や社会性、コミュニケーション力を養う</li> <li>・クラスが団結して、お互いの学校生活を豊かなものとするよう考え、実践する</li> </ul>		
授 業 の 画 計	<p>〈前期〉</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2年次オリエンテーション(1)</li> <li>2. 2年次オリエンテーション(2)</li> <li>3. クラス活動</li> <li>4. 個人面談</li> <li>5. 個人面談</li> <li>6. 個人面談</li> <li>7. クラス活動</li> <li>8. 個人面談</li> <li>9. 個人面談</li> <li>10. 個人面談</li> <li>11. クラス活動</li> <li>12. クラス活動</li> <li>13. 前期の自己点検</li> <li>14. 前期の自己点検</li> <li>15. 夏期休暇、後期にむけた目標設定</li> </ol>		
教 科 書 及 び 参 考 書	<p><b>教科書</b>……特に指定なし</p> <p><b>参考書</b>……特に指定なし</p>		
評 価 の 方 法	出欠状況、学校生活態度を総合的に評価する		